

## 生涯学習関係団体調査結果

### 1 回答状況

今回の団体アンケート調査は、主な生涯学習施設で活動している団体に依頼しているため、市内の広範な生涯学習団体を調査しているとはいえません。しかし、多くの生涯学習団体より回答を寄せていただき、活動の状況や活動に対する意向などの概略は捉えることができると考えられます。

配布施設と調査票配布数、回収数

施設名	配布数	調査票回収数
小牧市公民館	95	298 (64.8%) 郵送による返信もあり、各施設の数字は確定できない
中部公民館	40	
東部市民センター	70	
味噌市民センター	85	
北里市民センター	30	
まなび創造館	35	
図書館	15	
青年の家	40	
生涯学習キャンパス	50	
計	460	

### 2 調査結果

#### (1) 活動の状況

団体名等

問1 団体名・代表者名・電話番号をおたずねします。

団体名や代表者名などの記載については、273 団体(91.6%)の記入があり、25 団体(8.4%)が無記入でした。

< 団体名等一覧については、省略しています >

今後、団体・サークル活動情報としてまとめ、生涯学習の情報提供として活用することを考えています。

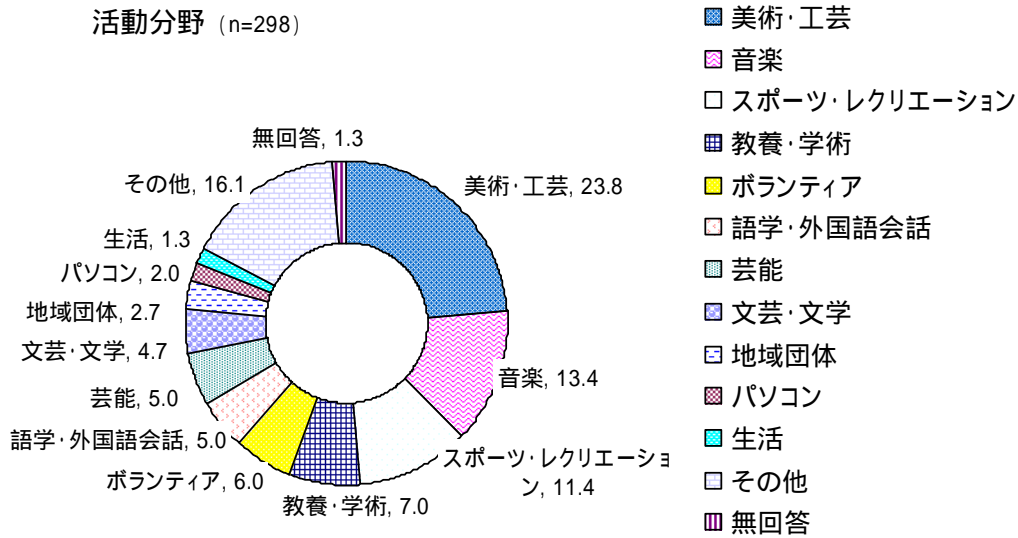
活動分野

問2 どんな分野の活動を行っていますか。

主な活動分野は、「美術・工芸(23.8%)」が最も多く、次いで、「音楽(13.4%)」、「スポーツ・レクリエーション(11.4%)」となっています。

「その他(16.1%)」の活動には、料理・手芸・詩吟・書道・華道・写真などの活動があげられています。

活動分野 (n=298)



### 団体の会員数・会員の年代層

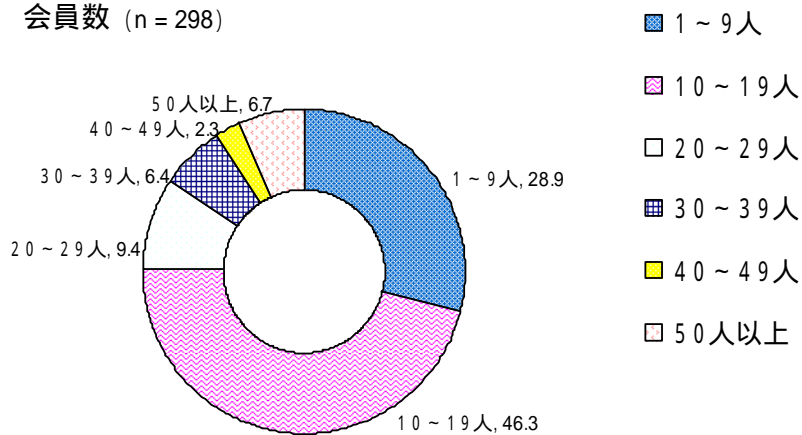
問3-1 団体の会員数は何人ですか。

問3-2 主な会員の年代はどの層ですか。(2つまで○印)

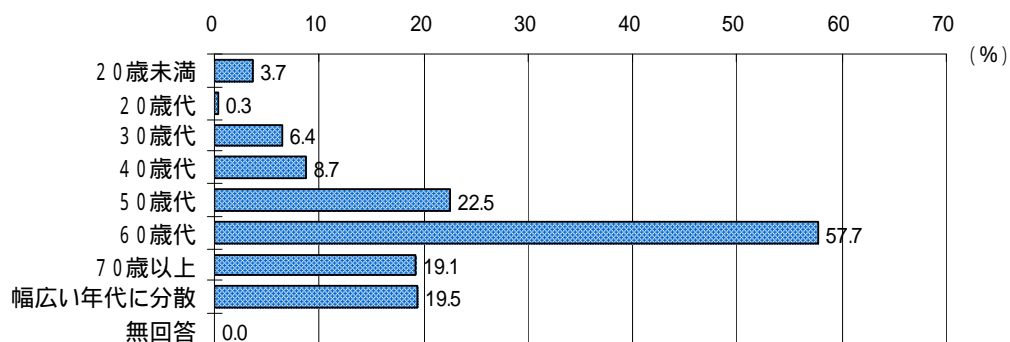
会員数については、「10～19人(46.3%)」の団体が最も多く、次いで、「1～9人(28.9%)」となっており、比較的少人数の団体が約4分の3をしめています。

主な会員の年代層については、「60歳代(57.7%)」が最も高く、次いで、「50歳代(22.5%)」、「幅広い年代に分散(19.5%)」となっています。現在、生涯学習活動に取り組んでいる世代は、50歳代以上で8割を超え、40歳代以下は、いずれの年代層とも1割未満となっています。

会員数 (n = 298)



会員の年代層 (n = 298)



### 日常的な活動場所・活動日・活動時間帯

問4-1 主な活動場所はどこですか。

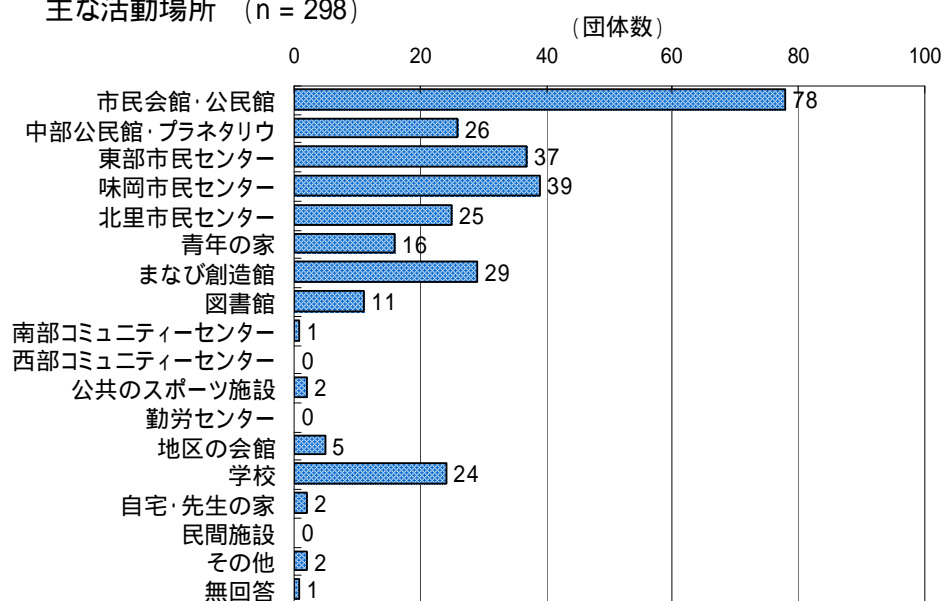
問4-2 活動回数はどれくらいですか。

問4-3 主な活動時間帯はいつですか。

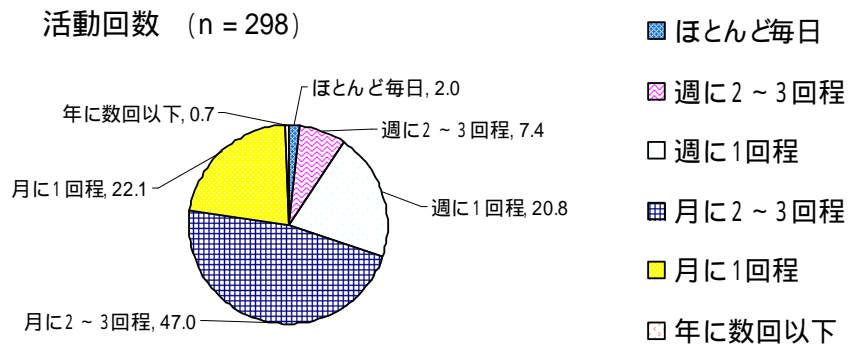
活動場所別にみると、「市民会館・公民館(78団体・26.2%)」と最も多く、次に「味岡市民センター」、「東部市民センター」、「北里市民センター」の三つのセンター、及び、「まなび創造館」、「中部公民館」となっています。

しかし、これらの数値は、アンケート調査票の窓口配布をした生涯学習施設において高くなっていると考えられます。したがって、今後の市内全域の生涯学習団体の把握には、調査法を改めていかなければならないと考えています。

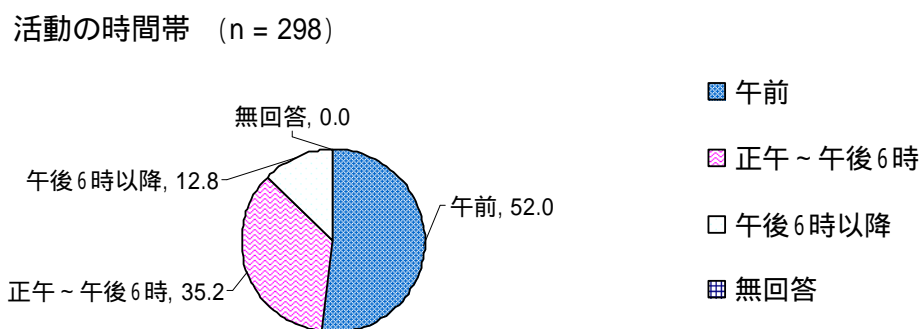
主な活動場所 (n = 298)



活動回数については、月平均3.1回となっています。分布をみると、「月に2～3回程(47.0%)」が最も高くなっています。次いで、「月に1回程(22.1%)」、「週に1回程(20.8%)」となっています。



活動の時間帯については、「午前(52.0%)」、「午後(35.2%)」、「夜間(12.8%)」となっており、日中の活動が9割近くをしめています。



### 団体の結成年・設立のきっかけ

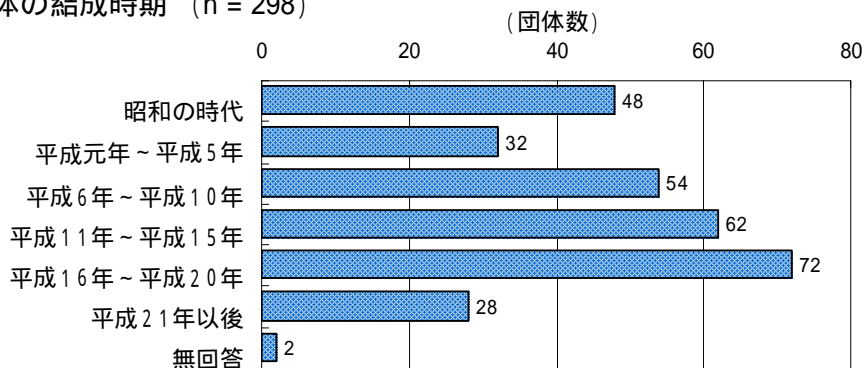
問5-1 団体の結成時期はいつですか。

問5-2 団体の設立経緯をおたずねします。

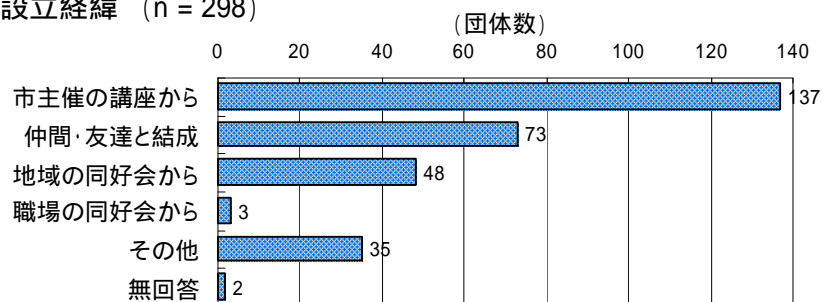
団体の結成年については、「平成16～20年(24.2%)」が最も多く、次いで、「平成11～15年(20.8%)」、「平成6～10年(18.1%)」となっています。「平成21年以後(9.4%)」の設立の浅い団体が約1割ありますが、多くは長年活動している団体であります。

団体の設立のきっかけは、「市主催の講座から(46.0%)」が最も多く、次に「仲間・友達と結成(24.5%)」、「地域の同好会から(16.1%)」となっています。

団体の結成時期 (n = 298)



団体の設立経緯 (n = 298)

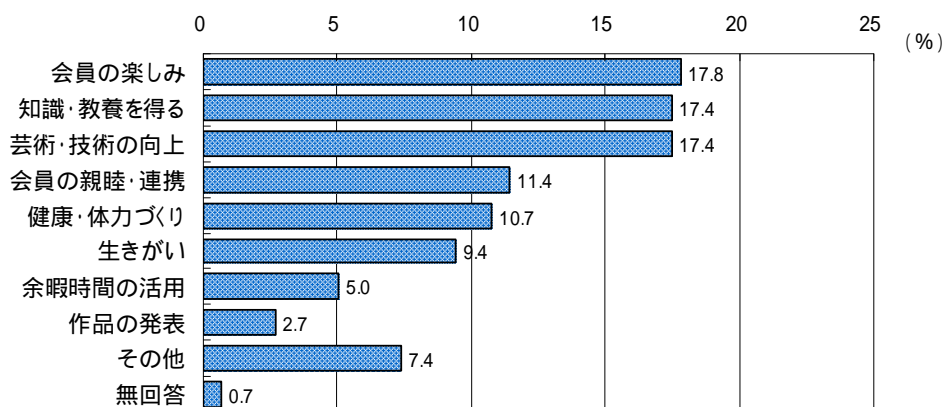


### 活動の一番の目的

問6 主にどのような目的をもって活動、参加していますか。

団体がどのような目的をもって活動しているかとたずねたところ、「会員の楽しみ(17.8%)」、「知識・教養を得る(17.4%)」、「芸術・技術の向上(17.4%)」が高くなっています。

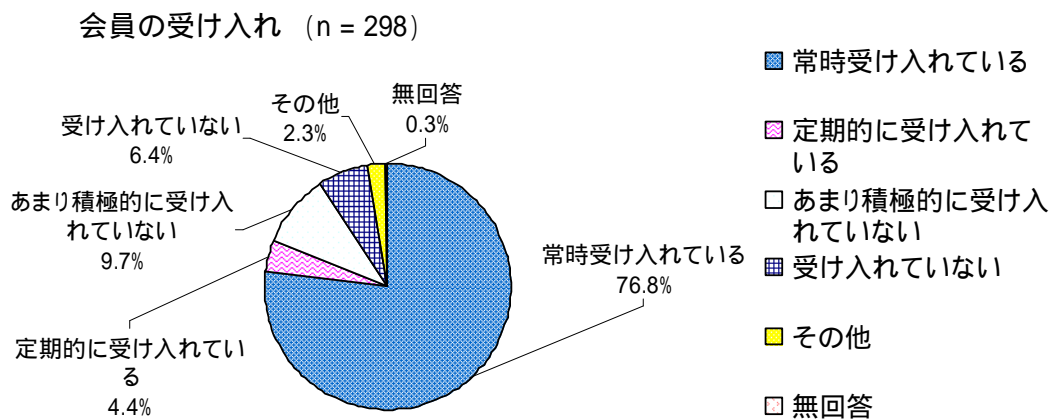
活動の目的 (n = 298)



## 会員募集

問7 新会員の受け入れについておたずねします。

新会員の受け入れについては、「常時受け入れている(76.8%)」と「定期的に受け入れている(4.4%)」となり、会員の受け入れを行っている団体は8割強であります。



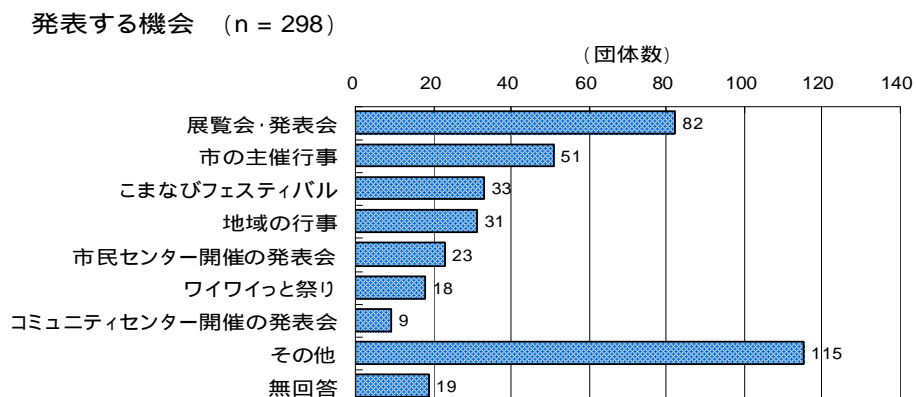
## (2) 生涯学習活動に対する今後の意向・要望

### 成果の発表機会

問8 発表はどのような機会を利用していますか。(2つまで○印)

発表の機会については、「展覧会・発表会(82団体・27.5%)」が最も多く、次いで、「市の主催行事(51団体・17.1%)」、「こまなびフェスティバル(33団体・11.1%)」となっています。

「その他(115団体・38.6%)」は、「特にない・していない」とする団体がほとんどですが、施設訪問・例会・機関誌・学校などの発表活動をしていると答えている団体があります。

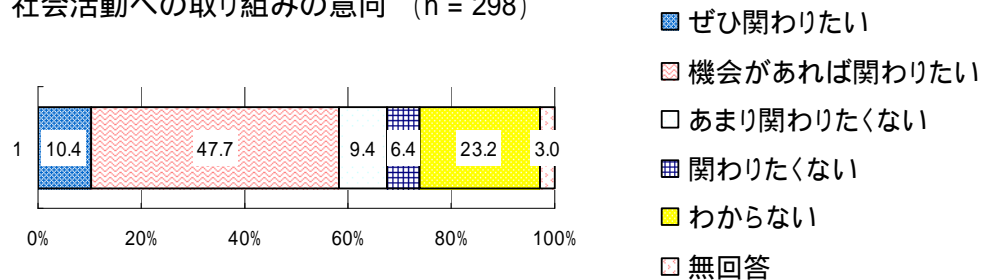


## 社会活動への取り組みの意向

問9 あなたの団体は、今後、地域や社会における社会活動の「支援や指導」に関わってみたいと思いますか。

団体の社会貢献への意向をたずねたところ、『「ぜひ関わりたい(10.4%)」と「機会があれば関わりたい(47.7%)」の計(58.1%)』が『「あまり関わりたいくない(9.4%)」と「関わりたいくない(6.4%)」の計(15.8%)』を大きく上回っています。

社会活動への取り組みの意向 (n = 298)



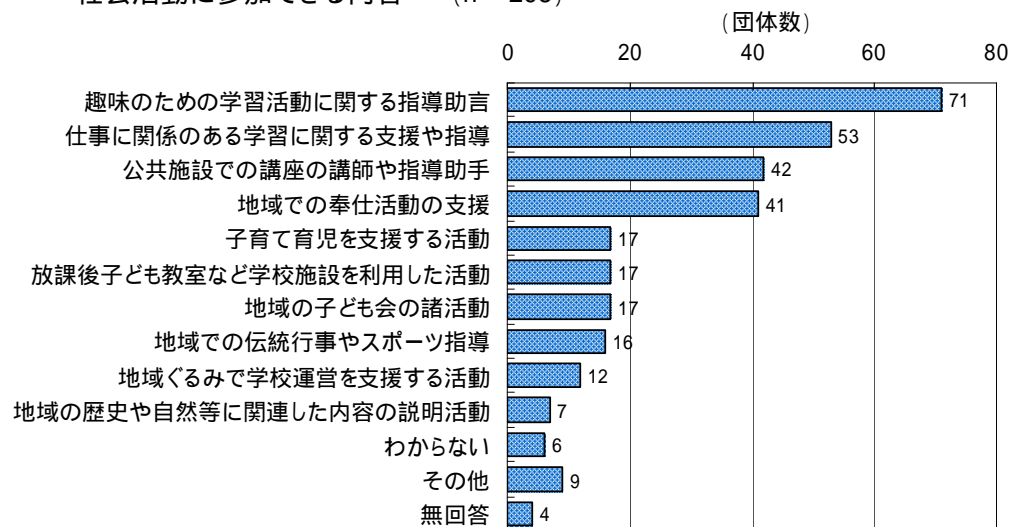
## 社会活動に参加できる内容

問9で「ア ぜひ関わりたい」「イ 機会があれば関わりたい」と答えた方に質問

問10 どんな社会活動の「支援や指導」に関わってみたいと考えられる内容は何か。(複数回答)

団体がどんな社会活動に関わることができるかをたずねたところ、「趣味のための学習活動に関する指導助言(71団体・41.0%)」が最も多く、次いで、「仕事に関係のある学習活動に関する支援や指導(53団体・30.6%)」、「講座の講師や指導助手(42団体・24.3%)」となっています。

社会活動に参加できる内容 (n = 298)



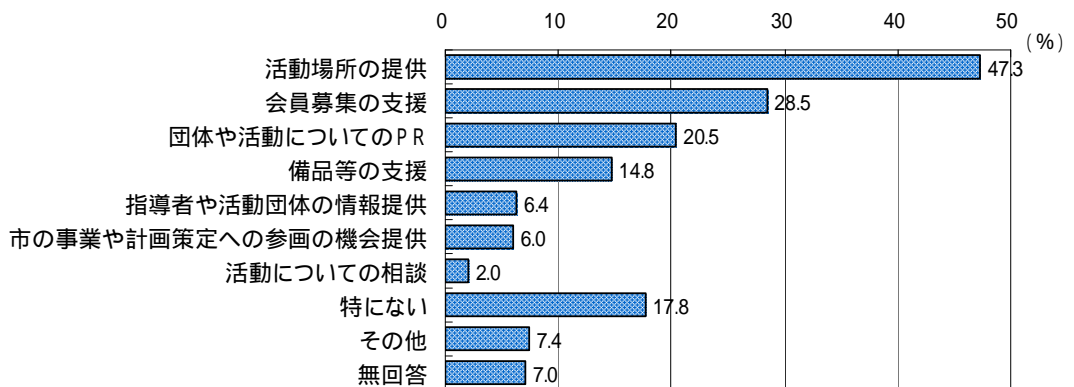


## 市への要望

問11 今後、活動を進めていく上で行政に求めることは何ですか。(複数回答)

市に望む取り組みについては、「活動場所の提供(47.3%)」が最も多く、次に、「会員募集の支援(28.5%)」、「団体や活動についてのPR(20.5%)」となっています。

市への要望 (n = 298)



問7の「新会員の受け入れを行っている」団体においては、「活動場所の提供(50.4%)」、「会員募集の支援(33.9%)」、「団体や活動についてのPR(23.6%)」の三つの要望が特に強く、全体より3～5ポイント高くなっています。

市への要望 (問11と問7より)

